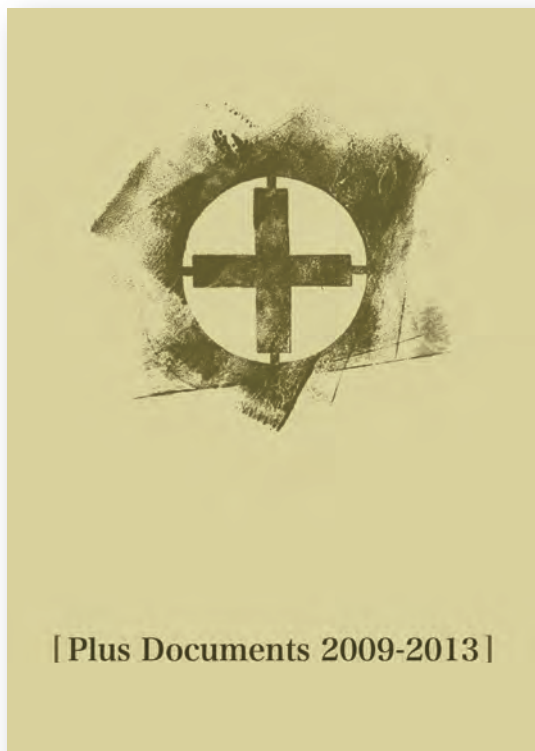


2014年12月下旬配本予定

# Plus Documents 2009-2013



目次:

- ・インタビュー:映画上映と場所 +設立の経緯について 牧野貴
- ・テキスト:実験映画への疑義、その歴史的前提 阪本裕文
- ・インタビュー:サイケデリック・エスノグラフィー ベン・ラッセル
- ・テキスト:Ghost of Cinema 牧野貴
- ・テキスト:知覚の変化 田巻真寛
- ・テキスト:映画の退屈な完成への反対 映画 EMBLEM に関して 葉山嶺
- ・トークセッション:映画にとって音/音楽とは何か ジム・オルーク+牧野貴
- ・記録:+上映会 アーカイブ
- ・解説:Plus Documents 2009-2013 Selected Works

このドキュメント集は、実験映画作家である牧野貴が主宰している上映組織 [+](プラス)の、2009年から2013年までの実験映画上映に関わる資料(インタビュー、対談、テキスト、上映記録、映画作品)を束ねたものである。

付属するDVDに収録される作品は、以下の通り。収録作品のひとつ「光の絵巻」は、2015年に横浜美術館で展覧会が企画されている映像作家・美術家 石田尚志と牧野のコラボレーション作品であり、映画ファン・現代美術ファンの両方にアピールする実験的な抽象映画となっている。

- ・牧野貴+石田尚志 - 光の絵巻  
(35mm / 16mm to HD video, Sound, 17min, 2011)
- ・田巻真寛 - Africa I  
(16mm, Silent, 11min, 2010)
- ・葉山嶺 - Emblem  
(16mm to HD video, Sound, 16min, 2012)
- ・ベン・ラッセル - Black and White Trypps Number Three  
(35mm, Sound, 11min30sec, 2007)

書名: Plus Documents 2009-2013  
 価格: 2500円+税  
 ISBN 978-4-9905954-4-9 C0074  
 版型・ページ数: A4変型(200mm x 277mm)、44p、DVD付属  
 装丁: 表紙/クラフト紙に透明インク、本文/クラフト紙に孔版印刷  
 編集: Puls Publishing  
 発行: engine books

作家略歴:

牧野貴は1978年生れの映画作家であり、2009年より上映組織[+]を主宰する。イメージフォーラム・フェスティバルで副賞を獲得した『No is E』(2007)以降、海外映画祭を中心に作品発表を続けている。クロアチアの25FPSフェスティバルにて大賞を獲得した『still in cosmos』(2009)や、ロッテルダム国際映画祭にて短編部門タイガーアワードを獲得した『Generator』(2011、愛知芸術文化センター・オリジナル映像作品)などが代表作といえる。これまでにジム・オルーク、Machinefabriek、タラ・ジェイン・オニールといった音楽家とのコラボレーションを重ねている。DVD作品集に、ジム・オルークとのコラボレーションをまとめた『牧野貴作品集 Vol.1 with ジム・オルーク』(紀伊国屋書店)がある。

▶ご注文はツバメ出版流通まで **FAX: 03-3721-1922** TEL:03-6715-6121 <http://tsubamebook.com> mail:info@tsubamebook.com

貴店名(番線印)	新刊	engine books <a href="http://koji.music.coocan.jp/index.html">http://koji.music.coocan.jp/index.html</a> 返品条件付注文扱い 返品了解 ツバメ出版流通: 川人
	冊	Plus Documents 2009-2013 2500円+税 A4変型(200mm x 277mm)、44p、DVD付属 SBN 978-4-9905954-4-9 C0074
ご担当:	様	